

「マルチステークホルダー方針」

当社は「ともにつくる、つぎをつくる。～いつでもどこでもお客様とともに～」を経営理念に掲げ、企業経営において、お客様、取引先、社員、地域社会、株主の皆様を含む多様なステークホルダーとの価値協創が重要になっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、お客様やパートナー様との共創や、生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、社員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 社員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、社員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。

その上で、成長により産み出す収益や成果は、「賃金決定の大原則」を前提としながら、社会情勢や自社の状況を踏まえた適切な方法で、賃金の引上げのみならず働きがいや働きやすさの向上といった多様な社員の成長と活躍と支援を支える人財投資も含めた総合的な処遇改善に取り組むことで、社員のエンゲージメント向上や社員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

東芝テックは、社業の発展並びに組合員の労働条件の維持改善に協力することで、労使関係の安定と秩序を図ることを目指しています。具体的には、賃金の引上げについては労使間での真摯な対話に取り組むとともに、人財投資については、階層別教育・専門教育・キャリア開発支援を行い、計画的かつ積極的な人財育成に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・パートナーシップ構築宣言の登録日 【2021年12月27日】
- ・パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/5810-05-21-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、「グローバルトップのソリューションパートナー」を目指して、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーによる持続可能な未来の実現に向けた取組みを継続するとともに、社会課題の解決に貢献する新たな価値を共創によって生み出し、サステナビリティに対する取組みを加速してまいります。

以上

2024年4月15日

東芝テック株式会社

企 業 名

代表取締役社長・錦織 弘信

役職・氏名（代表権を有する者）